

令和2年度 練馬区立関中学校 学校経営計画

令和2年4月1日
校長 大澤 秀吉

1 はじめに

学校が存在するためには、「校地・校舎」「教職員」「生徒」がそろわなければ学校ではない。「学校は、生徒のためにある。」という大前提を踏まえ、生徒を第一に考えた学校運営や教育活動を展開していくことが重要である。

地域の学校として地域・保護者・生徒からの期待に応えるため、全教職員が教育への情熱と英知を結集して協働し、関中学校の令和2年度の教育を創造・充実していきたい。

関中学校は、歴史と伝統ある学校として、地域・保護者・生徒から信頼される学校でなければならない。

校長は、学校経営の最高責任者であり、その権限と責任のもとに「学校経営計画」を示している。しかし、組織体としての学校においては、教職員一人一人の協力が不可欠である。「学校経営計画」に基づき、教職員一人一人の参画があってこそ組織として成立する。教職員一人一人がそれぞれの分掌に応じてその職責を果たすとともに、綿密な報告・連絡・相談・記録を通して、全教職員の共通理解と協力体制を確立していくことが大切である。

2 学校経営方針の根幹

大人や教師のカテゴリに当てはめ生徒を一般化することなく、生徒一人一人をしっかりとらえ、個々の生徒の課題解決に向けた指導を教職員一丸となり進めていきたい。

- (1) 生徒一人一人の違いを大切にした人権尊重をふまえた教育を展開し、生徒の命を第一とした教育を展開する。
- (2) 公立中学校は、「地域の中にあり、地域とともにあり、地域に支えられながら存在する学校」である。地域と連携しともにある学校を目指し学校経営を行う。
- (3) 学校は組織として校長を中心に、教職員のチーム力を大切にする。「個人プレー」ではなく「教師集団のチームワーク」や「学校の組織力（学校力）」を大切にする。
- (5) 練馬区・学校地域連携事業を活用し、授業の補助、環境整備等に役立てる。
- (6) 「学校における働き方改革推進プラン」は平成30年2月都教委から発表された。関中学校においても都教委と同じく「週当たりの在校時間が60時間を越える教員をゼロにする」を当面の目標とする。
年次有給休暇の取得（定期考査・長期休業・第二土曜授業等）
- (7) 将来の日本を担う生徒に「生きる力」（確かな学力、豊かな心、健やかな体）を身に付けさせ、「どこでも、やっつけていけるたくましい生徒」を育成する。
- (8) 安全安心できる学校生活。災害、非常時にしっかり対応できる学校運営を行う。
- (9) 実践志向の積極的な学校運営を行う。
「やればできる」「もっとうまくできる」と考える教師たちの姿勢。
- (10) 基礎学力定着のための学力保障を図る。
- (11) 読書活動の充実、学校図書館の充実を図る。ハートタイム（朝読書）を通年で実施する。
- (12) 学習指導要領に則った教育課程を確実に実行する。授業時数を確保する。
次期学習指導要領の趣旨を理解し、授業改善につなげること。
移行期間に応じた授業を展開すること。
- (13) 服務事故（体罰、暴言、不適切な指導・個人情報漏洩等）ゼロに。
12月に実施する体罰等アンケート調査で生徒から体罰等が「有」とでないこと。

3 目指す学校像（学校教育目標）

本校の教育目標の実現のために、次のような「目指す学校像（学校教育目標）」を掲げる。

【目指す学校像（学校教育目標）】

- 心豊かに 体を健やかに
- 行動は自主的に 責任を果たす
- 考える力を伸ばし 友人と助け合う

- (1) いじめがなく安心して生活ができ、心身ともに健康に育つ学校
- (2) 落ち着きと活力があり、力を合わせてより良い活動を目指すことができる学校
- (3) 学習に集中でき、一人一人の力が十分に発揮することができる学校



令和2年度 目指す学校へのスローガン

生徒一人一人を大切にし
地域・保護者・生徒からより一層信頼される学校を目指す！

生徒にとって「学びの場」「成長する場」を保証する学校であること

関中学校は、令和2年度、開校46年を迎える。平成30年度より「練馬区・学校地域連携事業」をスタートさせている。この事業を活用しつつ、かつ、人権尊重を重視し、地域・保護者・生徒からより一層信頼される学校を目指す。かつ、関中学校は、生徒にとって「学びの場」であり「成長する場」であることを教職員が自覚し、学校として保証することが大切である。

生徒は

自らを見つめ、鍛え、成長する

教職員は

生徒の可能性を引き出す指導を

生徒一人一人を大切にし

**地域・保護者・生徒から
より一層、信頼される学校**

関中学校は、生徒にとって「学びの場」「成長する場」

保護者との

信頼関係に基づく連携、協力

地域社会・関係機関との

小中高連携と地域貢献・交流

4 中期的目標と方策

(1) 環境が人を育てる。校内の人的・物的教育環境を整備し、健康で安全な学校生活を確保する。

- ① 最大の教育環境は教師
教師の意欲、姿勢、行動、言葉遣い、服装などが、生徒に大きな影響を及ぼす。
日々、望ましい姿で臨み、生徒に範を示したい。
- ② 居場所のある学校（互いに尊重し認め合える環境）
生徒の個性は多様である。個々の生徒が安心できる場所、人と話ができる場所など様々な場や機会を提供する。
いじめや暴力の他心無い発言によって、その生徒の居場所が奪われることが無いように各教科の他、特別活動や道徳などあらゆる機会を通じて生命の大切さ、人権、人はそれぞれ違うこと、人との関わり方を指導し、互いに尊重し認め合える環境を整える。
- ③ 生徒が主体となって活動できる環境
学校行事、学年行事、生徒会活動、係活動において、生徒が主体となった活動できる場と機会を教職員が意図的に作り出す。生徒が成長する環境を育てていく。
- ④ 様々な配慮が行き届いた環境
情緒の安定を図るために、全教職員が生徒とともに校舎内外の安全と美化に心がけ、生徒にとって安全で潤いのある教育環境を目指す。さらに、アレルギーの対応、不審者の対応、生徒のケガや事故の未然防止を重視する。
そのために、日ごろから危機管理意識を高め、アレルギーの聞き取りや食の安全と施設の安全点検を確実に励行し、安全確保と安全管理を徹底する。

(2) 学校・家庭・地域との連携を深め、かかわりを大切にした信頼ある学校づくりに努める。
また、地域の幼保・小・中・高との連携を一層推進する。

- ① 地域およびPTAとの連携を強化し、授業等、各種学校行事に、学校支援ボランティア・サポーターとして、保護者及び地域の人たちと教職員との連携・協力の下に教育活動を推進する。（学校図書館・グリーンボランティア・避難拠点訓練、防犯パトロール等）
また、公的機関との連携にも留意する。
- ② 学校日より、ホームページ、学年日より、学級日より、個人面談、三者面談、学校公開、道徳授業地区公開講座など、具体的な情報発信を適切に行い、保護者との信頼関係を深める。
- ③ 学級経営においては、日常の子どもの姿（向上・努力・課題・出来事など）が正確に保護者に伝わるよう、連絡や面談を適宜適切に行う努力をする。
- ④ 学校評議員による学校関係者評価を活用し、学校改善に努める。
- ⑤ 練馬区・学校地域連携事業では、昨年同様、地域の方でもある学校支援コーディネータと連携し、地域の力を借りて、学校運営を推し進める。
- ⑥ 練馬区・学校地域連携事業を推進するため、「学校支援推進協議会」を設ける。
この協議会は、学校評議委員会開催のときに、同時に行う。
- ⑦ 地域未来塾を創設し、学習困難などの理由で不登校傾向にある生徒の対応を行う。

(3) 学校の組織を活性化する。

学校は、教育目標の実現に向かって全教職員が共通理解のもとに教育活動を推進する組織である。個々の教員が、その個性と特性を生かしながら共通の価値ある目標に向かって努力し、活動を展開する。

そのためには、教職員一人一人が常に全校の動きを視野に入れて建設的な提案をするなど、経営参画意識を高め学校運営にあたる。

時間の使い方を意識した会議や授業の設定を行い、会議の運営、研修の運営、行事の運営、授業の運営等で実践する。

学級通信を含む保護者や地域が目を通す起案文章は、主任→主幹→管理職が確認する。

何のために、だれが、いつ、何を、どうするのが明確となった文章作りをする。文章に目を通してすぐに流れがつかめると時間短縮、働き方改革につながっていく。

(4) 教育者としての専門性をより一層高める。

教師も研究者・専門家としての視点やテーマを有していなければならない。そのために教科や教育テーマの専門性を高めるために、様々な研究・研修会に参加する。
生徒と共に常に学び続ける教師としての修養を怠らない。
個々の欠点をあげつらうのではなく、より良く行動し成長するために、校内で互いに学び合える環境を整えていく。

(5) 学校予算を適正に編成して執行する。

長期的、短期的な展望に立って予算を編成する。
適切な執行を進めて円滑な教育活動を推進する。
公費、私費共に教師個人のお金ではなく、税金、保護者から徴収したものであることを忘れずに、速やかに厳正に執行する。
事務が適正な管理と執行を行うために、四半期ごとに、企画委員会・職員会議で執行状態をチェックする。
私費会計での購入計画作成においては、本当に必要なものであるのか、使用頻度などを学年、教科でよく検討してから、物品の購入を計画する。
購入後は、速やかに会計処理に入り、進捗状況を学年や教科内でチェックする。
その執行状況を学年出納帳に明記して管理職が毎月点検できる状況にし、適正な執行を行う。